

会 議 録

会議の名称		令和元年度第3回川越市障害者施策審議会
開催日時		令和元年11月5日(火) 午後2時～3時16分
開催場所		川越市総合福祉センター 3階社会適応訓練室
議長(会長)氏名		会長 佐藤 陽
出席者(委員)氏名(人数)		佐藤会長、小林委員、大野一美委員、大嶋委員、大野操委員、山田委員、岸澤委員、大平委員、内藤委員、速水委員、鈴木委員、山下委員、高橋委員(13名)
欠席者(委員)氏名(人数)		藤田副会長、望月委員、松本委員、大西委員、島村委員、森田委員、瀬尾委員(7名)
事務局職員氏名		福祉部長、障害者福祉課長、障害者福祉課副課長、牛窪副主幹、佐藤主査、清水主任
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 川越市障害者支援計画に伴うアンケート経過報告 (2) 川越市障害者支援計画 平成30年度進捗状況調査に関する委員質問(第2回審議会)と回答について 3 その他 4 閉会 	
配布資料		<ol style="list-style-type: none"> 1 会議次第 2 送付資料の説明について 3 会議資料「川越市障害者支援計画 平成30年度進捗状況調査に関する意見と回答(令和元年度 第2回審議会での意見)」 4 会議資料「川越市障害者福祉に関するアンケート調査 回収状況比較(H25, 28, R1)」

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事 務 局	<p>【開会】 開会に先立ちまして、この度の台風19号では、けやきの郷の復興に当たりまして、皆様のあたたかいご支援、ご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。幸いにも入所者の皆様も無事に避難されて、現在はオアシス、デイサービスセンター、いもの子さんの方で現在生活をされている状況です。まだまだ時間がかかるということを、施設からは聞いておりますので、引き続きご支援を賜ることがあるかと思っておりますので、その節は宜しくお願いいたします。</p> <p>それでは、本日お配りした資料を確認させていただきたいと思っております。</p>
会 長	<p>【資料確認】 【会議の成立】</p> <p>【会長あいさつ】 【会議公開の承認】</p>
事 務 局	<p>議題（1）川越市障害者支援計画に伴うアンケート経過報告</p> <p>【会議資料について事務局説明】</p>
会 長	<p>ただいまの事務局からの説明について、何か御質問等ございましたらお願いします。いかがでしょうか。</p> <p>9種類のアンケート中、療育手帳所持者と施設入所者以外は、前回と比べて回収率が下がっているようですが、その理由は何なのか、アンケートに答えても変わらないといった消極的な想いが反映されているのか、それとも言うことではない、これでよいという風に思っただけなのか、少し読み取れない面もあります。回収率が下がった場合には、確認が必要かと思っております。</p> <p>特に自由記述には、ご指摘の部分もいろいろな想いが入っていると思っておりますので、項目分類などをしてもらいながら整理していただければと思います。</p>
委 員	<p>発送して回答するのは難しいといった意見はあったのでしょうか。</p>

事務局	<p>ございました。実際、回答するのが語彙が難しく白紙で戻ってくるケースが散見されましたが、現在のところ数件ですが、ご本人が回答するのが難しい場合は、ご家族や施設の方にも、できるだけ本人の代わりになって答えていただくようにこれまで実施してきておりますので、今回もそのようにお願いをして回答いただいております。</p>
委員	<p>まだ途中の段階ですが、もし回収率が60%を割る場合は、その原因は何か、なぜ回収率が段々下がってきているのか、そのあたりの分析をお願いしたい。</p>
会長	<p>他の方はよろしいでしょうか。 今、委員さんからご指摘がありました。回収率が年々下がっているようであれば、その分析が必要ですし、その結果のとりまとめ、少しポイントを整理していただき、皆さんにも大まかに見ていただき、細かな部分も見ていただけるように整理していただきたいと思います。 それでは、議題（2）について、事務局から説明願います。</p>
事務局	<p>議題（2）川越市障害者支援計画 平成30年度進捗状況調査に関する委員質問（第2回審議会）と回答について 【会議資料について事務局説明】</p>
会長	<p>お気づきの点、また説明がなかった部分などについて、何かございましたら挙手をお願いいたします。</p>
委員	<p>No.111の施策「路上放置物等の撤去・啓発・指導の推進」について、事務局の調整の結果、到達点としては一定の達成度だと思っております。ただ、市民としてまちをどう利用するかという観点からすると、やはり目的は噛み合わない点がたくさんあります。そうすると、評価の観点とか目的意識とか、そういうところに結局問題点がいつてしまうのです。 お願いですけれども、やはりすれ違いが起こっているのは、結果的には事実です。このすれ違いをなくして、やはり同じ土俵に立って、評価したり判断したりできるような状況にならなければ、真の進歩はやはり願えない気がするのです。 事務局と会長さんにも、ぜひこの難しい課題を、どういう方向で進めたらよいか検討していただき、結果を次回でも次々回でもよいですから、もう一度ご提案を頂ければありがたいのですけれども。 やはり、まちづくりというものは、短期的に解決するのは非常に難しく、例えば30年とか50年とか長年、計画的に進めてようやく達成するという、そういう性格のもので</p>

	<p>す。短期的に処方するのは、土台、基本的に無理なところがたくさんあります。残された課題の整理について、どういふ点で解決が見込めるか、どうやったらよいか、審議会で何をしたらよいかということについて、もう一度提案いただけないでしょうか。</p>
<p>会 長</p>	<p>こういった市民感覚や当事者の方の捉え方や、行政の側から配慮はしているけれども、視点のズレが感じるところの是正をどのようにということかと思いますが、他の委員さんからも同様に何かご意見がございますか。よろしいでしょうか。</p> <p>私が一つ思うのが、自分自身もボランティアな取り組みをやってきて、特に今、委員さんがおっしゃった部分では、当事者の声をきちんと担当課の方が聴く機会を設けることが一番の近道だと認識しております。過去、私がソーシャルワーカーで、自治体の現場にいた時には、担当の方だけでは気づきにくいことがありました。</p> <p>経年の課題となっているマップづくりなど、当事者の方も中に入って検討することが大事だと思います。例えば、視覚障害の方、車椅子を使用されている方など、障害に応じて、路上放置ひとつ挙げてみても、それに対する意見は様々で異なります。例えばこの施策に関して、防犯・交通安全課及び道路環境整備課の間に障害者福祉課に入ってもらいながら、この審議会で構成されている当事者団体の皆さま方がいらっしゃると思いますので、代表の方と確認をするような、そういう機会を通じて共通理解を進めていく、そういったことが必要になってくると思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>例えば、市内を車椅子で移動するような時に、まだまだいろいろなところに障害物や危険な箇所がたくさんあります。担当課としては、予算通りに執行して、結果として一定の成果が見られるというのはとてもよくわかるのです。担当課としては、十分やれたと感じると思うのですが、市民としては、市全体のことを視野に入れながら施策を展開してもらいたいと思います。それが市民と行政が噛み合わない最大の原因だと思います。解決の一つの方法として、今、会長がおっしゃったそういう努力も是非やるべきだなと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>例えば店舗の方の理解がないと、誘導ブロックのところに店の品物を置いたりといった例がありますし、こういったことを事務局と具体的にどういう取り組みが可能か確認をしながら進めさせていただきます。</p> <p>他にご意見ご質問等ございますか。</p>
<p>委 員</p>	<p>先ほどの回収率の低下傾向の話がありましたが、この原</p>

	<p>因の分析が非常に大事なかなと思います。それと同時にアンケートは強制力がないわけで、事務局に伺いたいのですが、催告みたいな、ぜひ川越市の障害者計画について寄与して頂きたいというようなことは行っているのでしょうか。</p>
事務局	<p>アンケート調査の対象者に対する催告ですが、検討はしておりましたが、文書による催告は、アンケートを送付した方全員に行うことも一度検討を行いました。費用面の観点と効果の観点を考え、今回行っておりません。3年前の調査も催告は行っておりません。</p>
	<p>原因の分析ですが、委託業者にも確認をしたところ、アンケート調査全般が最近低下傾向にあるという話は伺っております。伺ったところによりますと、最近市役所から送られるアンケート調査が多岐に渡っており、いろいろなものが届いて回収率が下がるといったような状況は聞いております。</p>
会長	<p>例えば信用性のある回答であれば、この回収率である程度推察できるというか、読み取れる回収率なののでしょうか。この48.4%は、回答内容に欠損のない有効回答ですか。</p>
事務局	<p>回収数は48.4%ですが、内容を見ますと、回答の仕方がわからなくて丸がついていないものも見られます。</p>
会長	<p>委託業者に確認をしていただいて、有効回答は、全て回答されているデータを基本としながら、欠損がどれくらい出ているか、それでデータの信用性や妥当性を図るものだと思いますので、まずは状況分析とともに、きちんとこの得られた数値から読み取れるものであるかどうかということを確認していただき、万が一、集計のデータが十分そういった根拠を示すことができないのであれば、データの再回収をしなければいけないといったことも起こりえます。基本的には半分くらいであるので、ある程度の妥当性を示せるのかなと思いますし、これが全て欠損がないのかどうかはわからないので、その辺の確認は業者に確認をしてもらえればと思いますが。</p>
委員	<p>平成28年度の最終的な回収率はどのくらいだったのでしょうか。後ほどで結構です。</p>
会長	<p>先ほど回収率が下がってきている社会の現状も踏まえながらですが、きちんと有効回答が得られていないと、根拠あるデータに十分しきれないというところがありますから、業者と確認していただき、もう一度次回に、報告を含めて説明をしていただければと思いますが。</p>

委員	<p>本来行政の障害者支援計画のアンケート調査というのは、一つの資料に過ぎないと思います。3年間で事務局がどういう形で、計画を作っていくのか、アンケートの比重がどうなっているのでしょうか。アンケートはかなりのボリュームなので、大変なご苦労があるかと思いますが。</p>
事務局	<p>アンケート調査は、委員さんが仰るように、計画を作る上での一つの要素ではありますが、貴重なご意見と捉えております。いただいた自由記述欄の内容を拝見しますと、一つ一つ貴重なご意見を書いていただいておりますので、施策にできる限り生かしていきたいと考えております。</p> <p>先ほどの補足ですが、アンケートの有効性の観点から申し上げますと、発送数ですが、療育手帳所持者、精神保健福祉手帳所持者の発送数を3年前と比べて、それぞれ100程度増やしております。先ほど会長からありましたアンケートの回収数を増やすため、発送数を増やした状況にあります。療育手帳所持者、精神保健福祉手帳所持者は、対象者数そのものが増えていることもあります。</p>
会長	<p>障害者支援計画の4ページに、計画の枠組みが載っております。国が大きな枠組みを示し、それを受けて都道府県で計画を示し、それを基に市町村は、障害福祉計画においてはサービスの部分を明確にすることと、障害者計画では理念的な捉え方をきちんと整理する。本市の場合、これを一つにして計画としてまとめています。</p> <p>中身を見ると、関係団体にヒアリング調査をしていますので、これは過去にも委員さんからご指摘をいただいているところではありますが、今回のアンケート調査の量的なものを出されているところと、事務局から説明があったように、自由記述で実感の伴ったいろいろな記述がありますから、整理していただき、ニーズとしてどういうものがあるのか、一部質的な内容についてもクローズアップし、それが各団体のヒアリングの内容とどう整合性があるのか。重なる部分と違う部分があると思いますから、こういったものから障害当事者の方たちの想いにきちんと視点を当てて、それを国・県の大枠と照らし合わせながら、次期計画として何を重点的に行うのか、どういう施策を打ち出すことが求められるのか。その中には全国的に意向があるものもあれば、川越市としてここは大事にしようといったことが出てくると思います。</p> <p>どうしても少しずつタイムラグが出てきてしまうところがありますが、その微調整はこの審議会で行いながら、できるだけ障害のある方たちにとっての意味のある施策につなげていくのがこの審議会の役割だと思いますので、ご理解ご協力いただければと思います。</p>

委員	調査種別の1から4の発送数と対象者数は、数字として具体的に示されており、大体全体の20パーセントから25パーセント程度を抽出しているのだとわかりますが、全体的には一律何パーセントの方に調査を依頼したのでしょうか。
事務局	一律全体の何パーセントという形にはしておりません。川越市における手帳をお持ちの方の割合に応じて数を決めた上で、アンケートの有効性を加味し、例えば、療育手帳所持者や精神保健福祉手帳所持者などについては、身体障害者手帳の所持者に比べて少ないため、同じ割合で抽出すると対象者数が少なくなります。このことから修正を加えまして、例えば療育手帳所持者、精神保健福祉手帳所持者などは数を増やすなどの調整をしております。
委員	ということは、障害種別に応じて発送した割合は異なるということですか。
事務局	その通りです。
委員	資料の高次脳機能障害のところですが、たった1名しか回答がないというのは少し気になりました。5番から9番までは、全体の対象者数は何名かというのは把握できませんが、おそらく8番は対象者数そのものが極めて少ないのではないかと思います。
会長	1名の回答は平成25年度ですので、今回は現時点では7名です。
委員	7名にしても非常に少ないので、全体の対象者数が少ない障害種別については、発送のパーセンテージを上げるなどして、より正確な要望意見などを把握できる形で今後は考えていただければと思います。
事務局	ご指摘のとおり、5番の施設入所者から9番の発達障害をお持ちの方など、数が少なくなっている種別については、基本的には全数調査をしております。
会長	高次脳機能障害の方はどのように把握されましたか。
事務局	精神保健福祉手帳をお持ちの方の中から抽出しております。また、9番の発達障害をお持ちの方も、精神保健福祉手帳をお持ちの方の中から選ばせていただいております。
会長	説明でありました重複をさけるようにとあったのは、そこできちんと整理をして送っているということですね。

事務局	その通りです。高次脳障害をお持ちの方と発達障害をお持ちの方は、いずれも精神保健福祉手帳をお持ちの方の中から選んでおりますので、3番の精神保健福祉手帳所持者の中から外させていただいているということです。
会長	実際、高次脳機能障害で送った方からは約3分の1の方から回答をいただいたという理解でよろしいですね。
事務局	その通りです。高次脳機能障害をお持ちの方は、そもそも対象になる方が少ないこともありまして、このように回収数が少なくなっておりますが、その分1つ1つの意見を貴重なものとして生かしていきたいと考えております。
会長	次期調査を行う際には、今出た意見も参考にして、回収率を上げる努力は必要になってくると思われれます。
委員	このアンケートの発送先はどのように決めているのでしょうか。
事務局	手帳をお持ちの方からは、無作為で選ばれた方に発送しております。
委員	3年ごとに行っていますから、同じ方にアンケートが行く場合もありますね。
事務局	3年前に送った方を除いてはおりません。3年で状況が変わる可能性ということ、継続して同じ方にご意見を頂戴しても問題ないという判断で行っております。
会長	他によろしいでしょうか。今議題2だけではなく、先ほどの1についても確認させていただきました。課題として整理することもあると思いますので、事務局よろしく願います。
委員	<p>3 その他</p> <p>先ほど、災害のことが話題にありましたので、それについて計画に関連してよろしいでしょうか。</p> <p>重複するかもしれませんが、10月12日は大規模な台風19号が来るということで、施設に泊まって通過するまで施設にいたのですが、今回の被害があったけやきの郷さんとも連絡を取りながら、ここの中で経験したことがあります。</p> <p>台風が大型ということで、的場にグループホームが数か所あるのですが、警報がよく鳴りまして、避難しなくてはいけないということで、3か所のグループホームが霞ヶ関小学校だったと思うのですが、移っていくのですけれども、</p>

知的障害や発達障害を持っており情緒的に不安定な利用者が多く、うちが福祉避難所になっていることもあり、そちらに移っていいだろうかという問い合わせがありましたので、いいですよということで15名の方が移ってきました。

その後、何もなく帰っていったところまではよかったです。ですが、けやきの郷さんと連絡を取りながら、夜の21時以降になりますか、台風が後ろに回り、水害は出ないかなというようなことを話していたら、0時が過ぎるとあのような状況になってしまいました。

福祉避難所という中身の中に、入所支援施設が災害や火事に遭った場合、どこに避難すればよいのでしょうか。あるいは高齢者のように、入所者を分けて避難させていくということもあると思いますが、福祉避難所の構想はやはり、とても大事なところだと思います。今回、ここをどうしていったらよいかという検討をしていただけたらと思います。

市の配慮で、オアシスが避難所になったということで、今後どうなっていくのかが心配で、復旧には半年以上かかるかと思いますが、この前、オアシスでの障害者週間のつどいも取りやめになり、オアシスの利用はけやきの郷さんが復旧するまで、お貸ししていくのか、まだ答えは出ていないと思いますが、どんな方向で検討されているのかをお聞きしたいのですが。

会 長

現状で確認できているところでお答えいただけますか。

事 務 局

オアシスでの利用は、皆さん一番心配されていることだと思います。貸館もやっておりますので、年末までは体育室と調理室、お風呂の一部について、一般利用に制限を設けております。現在の状況ですと、法人さんの復旧が12月末まで終わるかどうかは微妙な状況でありまして、オアシスの使用については、非常に広くて疲れやすいと聞いていますので、社協と協議しながら、どういう形が最善なのかということを見ながら判断していくといった状況です。

会 長

今後の災害の対応は、次期計画では、福祉避難のあり方をより精緻化する必要も出てきていると思いますし、防災の所管のところと、今回の災害は稀にみると言われておりますが、何となくこういった気象状況が恒常化しそうな感じもあります。来年同じような、また、これからも台風が来る可能性もありますし、そうすると立地によっては常に災害が発生するようなこともないとは言えませんから、そうすると、とても施設の設置のあり方自体も再考されなければいけないことも起こりえると思うのですけれども、今のような発言もありましたので、検討されるようなことが

委員	<p>あれば、また審議会の中でもお知らせいただきたいと思います。委員さんよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>はい。</p> <p>この前の台風19号は大きな台風でした。我々の協会でも会員の範囲なのですけれども、メールを使いまして安否確認を行いました。集計した結果、皆さんの無事は確認できましたが、一部避難所に避難をした時に、親切に対応していただいたけれども、視覚的な情報がなくアナウンスの内容がわからなくて、掲示板に書いたりとか、そういうことをして欲しかった。話す内容も、見てわかりやすいようにして欲しかったという意見もありました。</p> <p>また、避難所の、どこに行ったらよいかわからないという会員もいて、川越市の防災メールに皆さん登録するようにとPRをしているのですけれども、まだまだ足りないかなという反省もありました。会員の皆様に登録してもらい、どこの避難所が開設されたとか、こちらの避難所はまだだとか、そういったことがメールによって周知されたらよいと思いました。</p> <p>また、毛呂山町の防災メールを見ると、道路が通行止めとか、川が氾濫し危ない地域には近づかない方がよいといったこと等も含めて発信されていました。川越の場合、そこまでの発信がなかった気がしましたので、道路通行止めとか、川が氾濫している地域も含めて情報のPRをもっとしていただけると助かるかと思いました。それも含めて今後の検討をよろしくお願いします。</p> <p>また、私が心配しているのが一般の避難所に、行きたいと思うが行けない障害者もいる。例えば、車いすの人、目の見えない方、高齢者、足の悪い方、本当に支援の必要な人が、遠慮して行きにくいことも含めて一般の避難所に行きにくい、実際に一般の避難所に支援の必要な方が集まってこない。そのために福祉避難所が必要ないのではないかと誤解されているのではないかと思うのですね。</p> <p>福祉避難所と契約したところに開設をお願いしていると思いますが、一般の避難所に来ないために支援がいらないと誤解されるのではないかという危惧もあります。我々も、民生委員や自治会の方々がどこまでできるか。要援護者について名簿に合わせてどこまで支援ができるのか。そのあたりも確認が必要かと思しますので、含めて検討をお願いいたします。</p>
委員	<p>民生委員の立場から申し上げますと、先日理事会がございまして、被害があった地域の方々から報告がありました。民生委員がそれぞれ地域で、被害状況を確認したり、ある方は避難所に行って、対応をどういうふうに行っているの</p>

<p>会 長</p>	<p>か、という報告がありました。</p> <p>ぜひ提案の部分、防災担当課と行政全体で災害時には、その災害の事務局の設置があったり、今回災害救助法の適用も本市も受け、国の所管になりますし、今の当事者の命を守るというところですので、その点についてのご意向は、今の内容を確認していただきたいと思います。</p> <p>また、どうしても行政も民生委員も被災して、東日本大震災の際には、尊い命を亡くされていますので、ここは地域福祉のほうなのですけれども、住民の方たちに理解を相互でもらいながら支え合わない、その状態の時というのは、なかなか機能しないというのは、今までの災害の経験から確実に言われてきているところです。</p> <p>また、そういった経験をされた方たちの地域は、特に関西などでは、阪神淡路大震災のあとから、地域づくりに関して、こちら関東圏とは、意識が違うところからやられているところもありますので、委員さんがおっしゃった、すぐに万全な体制が取れるようになるには、まだ課題が多い気がします、そういったご経験を発信していただいて、可能なところからきちんと行政の方でも発信していただいて、全市的な取り組みに反映していけるように、行政担当課の方に、お願いできればと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>このオアシスには今何人位避難なさっているのでしょうか。</p>
<p>会 長</p>	<p>事務局把握されていますか。</p>
<p>委 員</p>	<p>それから川越市内には、オアシス以外にまだ避難所はあるのでしょうか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>けやきの郷さんの初雁の家の方と、グループホームの方が避難されておりますが、今朝確認したところ、オアシスには初雁の家の14名の方、また、グループホームは5つあり、これらの方々は、使われていなかったデイサービスセンターに避難されておりますが、そちらは11名と伺っております。</p>
<p>会 長</p>	<p>他は如何でしょうか。</p>
<p>委 員</p>	<p>(意見なし)</p>
<p>会 長</p>	<p>ありがとうございました。では、議題が全て終わりましたので、事務局へお返しします。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>長時間にわたり御審議いただきありがとうございました</p>

た。以上をもちまして、令和元年度第3回川越市障害者施策審議会を閉会といたします。

委員の皆さまには、御多忙中のところ、御出席いただきまして誠にありがとうございました。

なお、次回会議につきましては、年明けの2月21日の金曜日の午後1時30分を予定しております。開催の通知につきましては、あらためてお送りいたします。本日はありがとうございました。

(午後3時16分閉会)